

# 電波時計 取扱説明書

## (デジタル電子音/振動目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
https://www.rhythm.co.jp

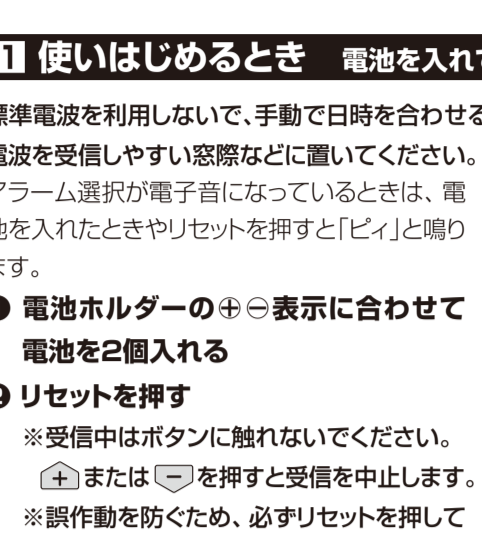
**電池は付属しておりません。単4形アルカリ乾電池を2個をご用意ください。**

### 各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。

アラーム選択表示

電子音 振動



- ① リセット
- ② 時刻合わせ
- ③ 強制受信
- ④ 時刻/日付
- ⑤ 12/24H
- ⑥ モニター
- ⑦ アラームスイッチ
- ⑧ 電子音または振動の選択
- ⑨ 押し進む
- ⑩ 押し戻す

スヌーズ 単4形アルカリ乾電池(推奨) 2個  
ライトボタン兼用  
操作をするときは裏カバーを取り外し、操作後は裏カバーを取り付けてください。

△注意 電池の⊕を指示と異なる向きに入ると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

① リセット 電池をセットした直後に押す。2011年1月1日AM12:00、アラーム時刻AM6:00にセットされます。楊枝など細い棒状のもので押してください。

② 時刻合わせ 手で日時を合わせる時に使用。

③ 強制受信 受信機能がONのときに押すと受信を開始。

④ 時刻/日付 時刻、日付の表示位置切り替え。

⑤ 12/24H 時刻の表示形式切り替え。

⑥ モニター アラームの音や振動を試す時に使用。

⑦ アラームスイッチ アラーム機能のON/OFF切り替え。

⑧ 電子音または振動の選択 手で日時合わせ、アラーム時刻合わせ。

⑨ 押し進む 押し続ける

⑩ 押し戻す 早送り 早戻し

### 1 使いはじめるとき 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手で日時を合わせる時には、「**手動での時刻合わせ**」をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

アラーム選択が電子音になっているときは、電池を入れたときやリセットを押すと「ピ」と鳴ります。

① 電池ホルダーの⊕表示に合わせて電池を2個入れる

② リセットを押す

※受信中はボタンに触れないでください。

⊕または➡を押すと受信を中止します。

※誤作動を防ぐため、必ずリセットを押してください。

③ 20分待つてから受信結果を確認する

受信マークが点灯していれば受信成功です。消灯しているときは「**標準電波を受信できないとき**」をお読みください。

### 【受信の流れと表示】

〈リセット直後〉 〈受信開始〉

曜日により位置が変わる 受信マーク(受信中点滅)

受信中の受信マークの変化(電波サーチ機能) 電波の状態により変化します。

受信できないとき

① ② ③ ④

### チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押し、再度受信を開始させてください。

### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所

●金属製の雨戸やブラインドの近く

●ビルの地下、ビルの合間、ビルの中など

●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く

●朝夕の時間帯、雨天のとき

●家電製品やOA機器の近く

●スチール机等の金属製家具の上や近く

### 標準電波を受信できないとき

●朝までそのまましておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく

と受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓などで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、**リセット**を押して結果を確認します。

### 手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って年(西暦)、月、日、時、分の順に合わせてください。

⊕または➡で数値を合わせて**時刻合わせ**を押します。**時刻合わせ**を押すと次の項目に進みます。⊕と➡は、押してすぐ離すと1つ単位に、押し続けると数値が早く変わります。

操作例 2023年12月25日 午前10:37に合わせる

年(西暦)が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続けて設定状態にします。

※対象が点滅します。

①年を合わせる

②月を合わせる

③日を合わせる

④時を合わせる

⑤分を合わせる

分のときに⊕または➡を押すと秒が00になる。

以上で設定が出来ました。

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。

●アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。

●手動で日時を合わせても、受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を修正します。

●時間精度はクォーツ精度になります。

### 2 アラーム機能を使う

#### アラーム時刻を合わせる

①アラームスイッチをOFFにする

②⊕または➡を押してすぐ離す

「アラーム」が点灯して、アラーム時刻が点滅。

③⊕または➡でアラーム時刻を合わせる

④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)の表示に注意

アラームマーク

アラームONで表示

ON

OFF

アラーム選択

電子音

振動

アラームスイッチ

振動を選択すると時計全体が振動します。このとき振動により製品が動くことがあります。

#### アラームスイッチのON/OFF設定

ON:設定時刻にアラームが作動する。

アラーム時刻と(●)を表示。

OFF:アラームを止める、作動させない。

#### アラームの選択

電子音または振動のいずれかを選択。

#### オートストップ機能(自動停止)

アラームは2分で自動停止します。

#### スヌーズ機能(止めてもまた作動)

アラームが作動しているときに、スヌーズを押すと、5分間アラームが停止してからまた作動します。停止中はアラームマークが点滅します。スヌーズは7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズを押すとアラームは止まります。

### 3 温度・湿度について

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかります。

直射日光が当たる所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、これらの影響を受けやすくなります。

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。また、設置した高さによっても温度・湿度が変わります。

※ポケットなどに入れて携帯したときや手で持ったままのときは、測定に人体の影響を受けます。

※本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

※厳密な温度、湿度の管理や商取引には使えません。

#### 測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HHH」50℃を超える高温 「LLL」-9.9℃未満の低温

湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」20%未満 「--」測定不可(温度が5~50℃の範囲外)

### 4 表示形式を切り替える

■12/24Hを押すとAM(午前)/PM(午後)付12時間表示と24時間表示が切り替わります。

■時刻/日付を押すと時刻と日付の表示位置が入れ替わります。

時刻優先

日付優先

AMまたはPMが表示されているときは12時間表示です。24時間表示は00:00~23:59 ss。

次の状態のときは、表示の切り替えは出来ません。

電波の受信中、アラームの作動中、スヌーズ状態、アラーム時刻または日時の設定中。

### 5 表示面を照明する

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。

ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。

照明をしたときは、時計上方より見てください。

※明るい所では、照明の効果は確認できません。

### 6 設置について

時計を立てて使用するときは、スタンドを右図のように引き起こしてください。

転倒や落下を防ぐため、水平で振動の少ない所に置いてください。

△注意 スタンドに無理な力を加えると、外れたり破損したりします。

### 注意 電池の交換について

電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。

必ず貯る 電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●液晶表示が薄くなったり、アラームが作動しなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。

早めに交換して液漏れを防ぎましょう

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

●動いていても1年に1回指定の電池に交換する。

### 電波受信機能のON/OFF操作

アラーム選択を電子音に切り替えてください

#### 受信機能 OFF(日時を標準電波で修正しない)

リセットを約1秒間隔で3回押してください。

○「ピ」と鳴ってから押してください。

○OFFになると「ピ」と鳴りません。

○日時は手で合わせてください。

※受信機能は、回路内に電荷がなくなるとONになります。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。

#### 受信機能 ON(有効にして受信を開始する)

➡を押しながら、リセットを押して離すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に➡を離してください。定期的に標準電波を受信して標準時刻に合わせます。

### リセットと強制受信

リセットは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。2011年1月1日、午前12:00、アラーム時刻が午前6:00にセットされ、受信機能がONのときは受信を開始します。

強制受信は、場所を移動したときなどすぐに受信を開始するときに押します。受信に失敗しても日時を継続します。

### 静電気の影響について

●静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

### お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、乾かしてください。

●ケースなどの汚れ落とし、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

### 時計、電池の廃棄

●お住まいの地区自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロ/ンテープなどで絶縁してください。

### おもな製品仕様

使用温度範囲 -10~50℃ \*結露しないこと

液晶可読温度範囲 0~40℃

時間精度 標準電波受信成功後の表示精度 ±1秒

標準電波受信しない場合 平均月差±30秒(温度が5~35℃のとき)

推奨電池 単4形アルカリ乾電池 JIS規格 LR03 2個

電池寿命 約1年(アラーム:30秒/日、照明:3秒/日)

標準電波機能 標準電波受信により自動時刻修正

受信電波機能 福島局/九州局自動選択

受信ON/OFF あり/ボタン操作にて切替可能

受信測定間隔 8回/日

受信開始時刻 1時~4時、13時~16時の時間帯の16分40秒

温度範囲 -9.9~50℃

湿度の精度 ±2℃

湿度表示範囲 温度が5~50℃のときに表示

湿度の精度 ±10%RH(注)

湿度測定間隔 1分

(注)RHは相対湿度を表しています。天気予報など一般的には%が使用されています。

付属品 保証書 1枚

カレンダー 2011~2099年対応

時刻表示形式 12時間/24時間 選択式

照明 液晶表示部をLEDで照明

アラーム機能 設定した時刻にアラームが作動する

アラーム精度 表示時刻に対して±0秒

アラーム 「電子音」または「振動」選択式

音量調節 なし

スヌーズ アラームが約5分間一時停止

オートストップ アラームが連続2分で自動停止

滴防塵機能 なし

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更されることがあります。

### 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止してはいけないことを示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

### 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池に傷をつけない。

●電池を分解しない。

●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。

●電池を加熱しない。

●電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道場で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

### 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない

さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない

けがや故障の原因になります。

液晶から漏れた液に素手でさわらない

破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

下記のような場所では使わない

性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器からの風が当たる所。

●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。

●火気のそば。●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気を発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

### 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

●プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●時計が動いていても定期的に交換する。

●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

●幼児の手が届かない所に置く。

●種類の異なる電池を混ぜない。

### 電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※[EVOLTA]は、パナソニック株式会社の登録商標です。

### 電池の寿命について